

7月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
クスノキの女神	東野 圭吾	神社に詩集を置かせてくれと頼んできた女子高生の佑紀奈には、玲斗だけが知る重大な秘密があった。認知症カフェで玲斗が出会った記憶障害のある少年・元哉 玲斗が二人を出会わせたところ瞬く間に意気投合し、思いがけないプランが立ち上がる。
明智恭介の奔走	今村 昌弘	7月上旬、配架予定 神紅大学ミステリ愛好会会長・明智恭介。事件を求めて名刺を配り歩く彼は、果たして名探偵なのか、ただのトラブルメーカーなのか『屍人荘の殺人』以前に起きた5つの事件を描く
おもみいたします 凍空と日だまりと	あさの あつこ	「生きねばなりません。そのお手伝い、させていただきます」切腹を命じられた武士をお梅は療治できるのか？読むと身も心もやわらぐ時代小説
告白撃	住野 よる	三十歳を目前に婚約した千鶴は、自分への恋心を隠し続ける親友の響貴に告白させるため、秘密の計画を立てていた。願いはひとつ。彼が想いを引きずらず、前に進めるようになること。ものわかりのいい私たちが揺さぶる、こじれまくった恋と友情!!
Timer 世界の秘密と光の見つけ方	白石 一文	89歳までの健康長寿を保証する世紀の発明“Timer”“その日”が来たら、私の心と身体はいったいどこへ行くのか？体内に装着したTimerの声に導かれ、余命わずかの老夫婦は、人生究極の問いの答えを求め、禁断の地へ向かうー。
詐欺師と詐欺師	川瀬 七緒	詐欺師の藍は、ある政治家のパーティーで知り合ったみちるに興味を抱く。みちるは親の仇を捜しており、そのために金がいるという。隙だらけの復讐計画を聞いた藍は、みちるに協力することになるが……。衝撃のラストにご注意を。
首木の民	誉田 哲也	大学の客員教授、久和が窃盗と公務執行妨害の容疑で逮捕された。運転する車の中から、血の付いた他人の財布が発見されたのだ。「公務員を信用していない」と言い、取調べは進まなかった。一方、菊池は交通事故を探っていたが、その事故には財務省のある人物が絡んでいた。

<p>三河雑兵心得（14）</p>	<p>井原 忠政</p>	<p>太閤秀吉の居城となる伏見城が落成した。秀吉は京の民を集め、自ら餅を撒いて祝った。無謀な「唐入り」も強行し、最近の秀吉は箍が外れている。天下泰平とはいかぬ世に暗澹たる茂兵衛にさらなる追い打ちがかかる。家康の命を受け、鉄砲百人組を引き連れて東海道を一路東へ向かうが、途上、何者かの襲撃を受ける。</p>
<p>ちょっぴりながもち するそうです</p>	<p>ヨシタケ シンス ケ</p>	<p>「こまめにストレッチすると ほとぼりがさめやすくなるそうです」「好きな本の中に一晩はさんでおいたハンカチは 心配事をすいとってくれるそうです」…。効果があるかも!?ヨシタケ流おまじない絵本。多忙な大人が気分を変えたいときにもお勧めの1冊。</p>

【お知らせ】

月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」

■「ESSE」

